

今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会開催要綱

1. 目的

瀬戸内海は高度経済成長期の人口や産業の集積に伴い、「瀕死の海」と呼ばれる程に水質汚濁が進行した時代があったが、水質総量削減制度や瀬戸内海環境保全基本計画に基づく施策等の着実な実施により、水質は改善されてきている。しかしながら、赤潮や貧酸素水塊等の発生、漁業生産量の低迷や藻場・干潟の減少などの課題が依然として存在しており、「豊かな海」へ向けて、新たな施策の展開が求められている。

このような状況を踏まえ、今後の瀬戸内海の水環境の保全を総合的に推進するために必要な助言を得るため、「今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会」（以下「懇談会」という。）を開催する。

2. 構成

- (1) 懇談会は、法律制度や水環境に関する学識経験者等で、水・大気環境局長が委嘱した委員をもって構成する。
- (2) 懇談会においては、検討事項に関係のある者を参考人として出席させることができるものとする。

3. 検討事項

懇談会は、次に掲げる事項について、必要な検討を行う。

- (1) 瀬戸内海の水環境の保全に係る基本的な考え方に関する事項
- (2) 現在の瀬戸内海の水環境における課題及び対策の評価に関する事項
- (3) 今後の瀬戸内海の水環境の在り方に関する事項

4. 運営

- (1) 懇談会に座長を置く。
- (2) 座長は議事を進行する。
- (3) 座長に事故があるときは、座長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

5. 事務局

懇談会の事務局は、環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室において行い、社団法人瀬戸内海環境保全協会にて事務運営補助を行う。

今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会委員名簿

岡山大学大学院環境学研究科長	阿部 宏史
広島大学工学研究院物質化学工学部門 教授	岡田 光正
毎日新聞社 大阪本社論説室 論説委員	榊原 雅晴
国際日本文化研究センター 教授	白幡 洋三郎
香川大学大学院連合法務研究科 教授	柴田 潤子
広島大学大学院社会科学研究科 教授	戸田 常一
大阪大学大学院工学研究科 教授	西田 修三
東洋大学 常勤理事	松尾 友矩
財団法人 ひょうご環境創造協会 監事	真継 博
広島大学 名誉教授	松田 治
独立行政法人 水産大学校 理事長	鷺尾 圭司

(50音順)

懇談会の開催経過

○第1回懇談会：9月3日（金）13:00-17:00 航空会館 B101 会議室

1. 各講師からの発表（30分×3名）
 - ①瀬戸内海の水環境に関する現状と課題、今後の目指す方向：九州大学教授 柳哲雄
 - ②陸域からの窒素・リン負荷量削減が沿岸海域の生態系・生物生産(漁業)に及ぼす影響：
京都大学大学院教授 藤原建紀
 - ③瀬戸内海における水産業の課題と水産業からみた今後の水環境の在り方：
瀬戸内海水産研究所室長 樽谷賢治
2. 意見交換

○第2回懇談会：11月1日（月）13:00-18:00 東京国際フォーラム G502 会議室

1. 各講師からの発表（30分×6名）
 - ④瀬戸内海環境保全特別措置法と今後の瀬戸内海環境保全に関する法の在り方：
香川大学大学院教授 中山充
 - ⑤瀬戸内海の再生の必要性及びその方策について：
瀬戸内海環境保全知事・市長会議 富岡寛美
 - ⑥鉄鋼業における総量削減への取り組み：社団法人日本鉄鋼連盟主査 正保剛
 - ⑦順応的管理に基づく海の再生プロジェクト - 海域の WiseUse を目指して -：
国土技術政策総合研究所室長 古川恵太
 - ⑧瀬戸内海 中津干潟を教材とした環境学習の現状と課題：
NPO 法人水辺に遊ぶ会理事長 足利由紀子
 - ⑨瀬戸内海の観光資源：広島大学准教授 フンク・カロリン
2. 意見交換

○第3回懇談会：12月3日（金）13:00-18:00 東京国際フォーラム G502 会議室

1. 各講師からの発表（30分×6名）
 - ⑩瀬戸内海の生態系の現状と底生生態系修復の重要性：広島大学大学院教授 山本民次
 - ⑪瀬戸内海の歴史と文化 一島の海里山と生活文化一：愛知大学大学院教授 印南敏秀
 - ⑫現代美術活動を通じた島の活性化～ベネッセアートサイト直島の活動の軌跡～：
ベネッセホールディングス直島事業室長 笠原良二
 - ⑬瀬戸内海の環境保全に向けた地区組織活動に関する意見：
広島県環境保健協会 理事長 近光 章
 - ⑭瀬戸内海の漁業の現状と今後の在り方：
兵庫県漁業協同組合連合会 代表理事会長 山田 隆義
 - ⑮瀬戸内海の沿岸域管理について：海洋政策研究財団常務理事 寺島紘士
2. 意見交換

○第4回懇談会：1月14日（金）14:00-16:30 東京国際フォーラム G502 会議室

1. 今後の瀬戸内海の水環境の在り方に関する論点整理（素案）の説明
2. 意見交換

○第5回懇談会：3月7日（月）14:00-16:30 東京国際フォーラム G404 会議室

1. 今後の瀬戸内海の水環境の在り方に関する論点整理（案）の説明
2. 意見交換

当該懇談会における有識者からの発表資料など各回の資料は、環境省ホームページ (http://www.env.go.jp/water/heisa/seto_comm.html) に掲載している。